

	発行者	東京書籍株式会社	大日本図書株式会社
	書名	新編 新しい理科	新版 たのしい理科
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	①概ねよい。	①概ねよい。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①問題解決の各段階を1本のラインで結び、学びのラインにそって児童が見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ②既習事項を生かし、問題に対して予想を立てる学習の流れを各単元で設定している。また、単元内においても、前時までの学習を生かせるように流れを工夫している。 ③各単元のおわりには、「理科の世界探検部」という学んだことをさらに深めるページがあり、その単元で学習したことが、社会のどのようなことに関連しているのか、実際に働いている人にインタビューをした内容が載せられている。	①学習単位ごとに基礎・基本をまとめ、定着させる問題を用意し、基本的な学習内容を確認できるようにしている。 ②「つくってみよう」「チャレンジ問題」を掲載し、学習を生かして作成したり問題を解いたりすることで思考力等を育成しようとしている。 ③「りかのたまたまばこ」や「サイエンスワールド」など読み物資料を用意し、学びに向かう力や人間性の涵養を図っている。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	○各市町の方針を踏まえている。 ①小田原の地層について写真掲載がある。	○各市町の方針を踏まえている。 ①小田原の地層の標本についての写真掲載がある。
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①具体的事例や具体物から問題を発見し、主体的に調査・実験・観察ができるように流れを工夫している。 ②算数科との関連をさせたり、防災について社会科や総合的な学習の時間と関連させたりして、教科横断的に学習できるようにしている。 ④伝統的な産業や食文化などに関する読み物資料が取り上げられている。 ⑤「レットライ」で「○○してみよう。」という言葉と大きな写真でわかりやすく示し、体験を促している。 ⑥中学校との接続が円滑にいくように、小学校で育成すべき内容を巻末で振り返られるようにしている。 ⑦各単元の考察のページで操作や書き込みをする二次元コード(デジ活)があり、児童が自分で考え、それを友達と伝え合う活動を促している。 ⑧「理科の学び方」で問題解決の各段階のポイントと流れが分かるように示している。 ○ 学ぶ前と後で同じ問いについて考えることで、児童が自分なりの成長を実感できるようにしている。	①具体的事例や具体物から問題を発見し、主体的に調査・実験・観察ができるように流れを工夫している。 ②「算数科とのつながり」など、他教科と関連するところにはマークで示している。 ④学習内容と関連がある伝統的な産業や伝承・風習などを多く紹介している。 ⑤体験活動を重視していて、活動の際の留意点が明記されている。体験的なものはやや発展的なものがある。 ⑥中学年でも中学校で学ぶことに触れており、学びの系統性をはっきりさせている。 ⑦各ページの下欄に、そのページに関係する二次元コードを設け、関連する動画をタブレットを使って自分で調べられるようにしている。ほぼ全てのページに設けられている。 ⑧考えを発表する場面で多くのパターンを例示し、活動の手掛かりになるようにしている。 ○「理科の学び方」で問題解決の力が育つようにしている。観察・実験を右ページ、めくった次の左ページに結果を配置し、児童がしっかり思考して取り組めるようにしている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②画像やイラストを効果的に使用し、見やすく配列されている。 ③単元導入ページの漢字に振り仮名を付け、読みの困難な児童にも読みやすくしている。	①概ね適切である。 ②メダカの卵の画像を、2つの角度から掲載するなど、児童が理解しやすい掲載の仕方をしている。 ③実験や観察の図や写真が大きくてインパクトがある。	
(イ) 教科・種目別の観点	①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮がなされているか。	①観察、実験の際に必要な基礎技能は、巻末の「資料」にまとめて示して、必要なときにすぐに確認できるようにしてある。 観察実験の際に配慮する項目が明確になっている。	①観察実験の際に配慮する項目が明確になっている。観察、実験の際に必要な基礎技能は、巻末の「資料」にまとめて示して、必要なときにすぐに確認できるようにしてある。
	②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮がなされているか。	②個別の知識がつながるよう、下の学年や他単元で学んだ内容を使って、総合的に考える「つなげる学び」が二次元コードで設けられている。	②観察、実験と結果及び「まとめ」は同じ見開きに示さない構成とし、児童が自分たちの結果からまとめることができるようになっている。
	③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮がなされているか。	③計画の段階で、自分の考えが正しければ実験の結果がどうなるかを考えさせようとしている。また、「考えよう」のコーナーをつくり、学習内容をふまえて自然の事物・現象について考えさせる工夫もしている。	③理科の考え方について、考える視点を例示したり、観察・実験の結果と関係づけて問題を解決したりできるようにしている。

	発行者	学校図書株式会社	教育出版株式会社
	書名	みんなと学ぶ 小学校 理科	未来をひらく 小学理科
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	①概ね良い。	①概ね良い。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①単元の終わりに「ふりかえろう」で問題を用意し、基本的な学習内容を確認できるようにしている。 ②巻末に「考えよう調べよう」のコーナーを設け、課題についてどのような道筋で解決に向かえばよいか紹介し、児童が様々な状況においても対応できる力を身につけられるように支援している。 ③裏表紙にSDGsと各単元の関連を掲示し、児童が生きる社会の目標を意識できるようにしている。	①単元の終わりに「たしかめよう」で多くの問題を用意し、基本的な学習内容を確認できるようにしている。 ②単元末に「学びを広げよう」のコーナーを設け、学習内容を活かして思考・判断・表現をできるようにしている。 ③単元の終わりに「科学のまど」のコーナーを掲載し、先人や現在に生きる人々の工夫や努力を児童が知ることで人間性を高めようとしている。
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	○各市町の方針を踏まえている。 ①生命の星地球博物館の記載がある。	○各市町の方針を踏まえている。 ①小田原の地層について写真掲載がある。
	（ウ）内容と構成 ○小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①各単元内で具体的な問題を提示し、児童が何を考え、何を根拠にすればよいか明確になっている。 ②算数科で学ぶグラフのかき方や単位、社会科で学ぶ方位など、扱いが前後することがあるので丁寧に説明されている。 ③巻末に予想や理由、結果などを説明する時にどのように話せば伝わりやすいかを示している。 ④古くから受け継がれてきた技術や文化を多数掲載している。 ⑤観察や実験している様子の写真を示すことで、体験活動への意欲をもてるようにしている。 ⑦必要なとき、子どもが随時動画や資料などを閲覧したり、無料でプログラムを組んだりできるよう、二次元コードのコンテンツが設けられている。 ⑧問題解決の各段階にチェック欄が用意されている。チェックをしながら学習を進めることで、現在地がわかりやすくなっている。 ○巻頭の学ぶ領域と巻末の「学年で学んだこと」がつながっている。	①各単元において、問題が具体的であり、児童が主体的に学べるようにしている。 ②国語科で学んだ力を生かして伝え合うことを勧めている。巻末で算数科とのつながりも示している。 ③本学年で大切にしたい言葉を具体的に示し、言語能力を育成しようとしている。 ④身近な伝統文化と理科と関わりがある資料が取り上げられている。 ⑤直接体験を重視し、五感を働かせた観察や活動を取り入れている。 ⑥巻頭に前学年で学んだことを全て載せ、その上で本学年の学習を積み重ねていく構成になっている。各単元の初めに「学習のつながり」で、既習事項だけでなく、先の学年へのつながりも示している。 ⑦巻末にある二次元コードから器具の使い方動画、結果や解説動画などを見られるようにしている。 ○主人公が問題を解決していく姿を丁寧に表現することで、児童が問題解決をする際の参考になるようになっている。
（エ）分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②机上スペース内で扱いやすいようにAB判(ワイド判)になっている。 ③配色や図版を工夫して、より多くの児童にわかるよう配慮している。	①概ね適切である。 ②比較する写真が多く、違いが分かりやすい。 ③本文や科学読み物は親しみやすい敬体で、子どもが主体的に取り組む観察・実験などは常体で記述してある。重要な用語については太字とマーカー処理で強調している。	
（イ） 教科・種目別の観点	①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮がなされているか。	①実験に必要な道具をチェック欄と共に明記し、実験方法は二次元コードの動画でわかるようになっている。	①実験や観察の手順をわかりやすく示し、必要な道具をチェック欄と共に明記している。
	②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮がなされているか。	②巻頭に「科学の芽を育てよう」で問題解決の流れを示し、本文中もこの流れに沿って構成されている。同じ過程を繰り返し学習することで、新しい課題や変化に対しても自ら問題を見出して解決していく力が身に付くようになっている。	②巻頭には「学習の進め方」を用意し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。結果を予想する場面や予想と結果の一致・不一致を考える場面を表現し、問題解決力を養うようになっている。
	③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮がなされているか。	③調べるときの「比べる」「関係づける」「条件をそろえる」「いろいろな方向から考える」の四つの考え方を巻頭で示し、4年間で獲得できるよう編修している。	③各単元において、子どもたちが理科の見方・考え方を働かせながらそれぞれの考えを伝え合い、イラストとともに考えを修正していく姿を取り上げ、自らの考えを修正しつつ、知を獲得していく姿をていねいかつ具体的に表現している。

	発行者	株式会社新興出版社啓林館	
	書名	わくわく理科	
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	①概ね良い。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①「理科の楽しみ方」を設け、「1見つける 2調べる 3まとめる」で問題解決の全体の流れを把握することができるようにしている。「まとめノート」や「たしかめよう」を設け、学習内容が確実に定着するようにしている。 ②問題をつかむ、予想、計画、考察など、対話的・協同的な活動を充実させ、思考力・判断力・表現力等を育むようにしている。 ③問題解決の流れの中で、「もっと知りたい」を設け、新たな問題発見に向かう意欲を高めるようにしている。	
	(イ) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	○各市町の方針を踏まえている。 ①小田原の地層について写真掲載がある。 ②台風による降水量が掲載されている。	
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①全ての過程を学びのラインでつなぐことで、児童自身が見通しをもって主体的に学べるように配慮している。また、理科の見方・考え方を働かせた対話的な学習活動を例示している。 ②巻末に「理科につながる算数のまど」を掲載し、算数科とのつながりを意識できるようにしている。 ③巻末に「かく」「伝える」を掲載し、カードやノートの書き方、話し合いの仕方などを示している。 ④全国の自然や人々の生活に関する話題を取り上げ、昔からの知恵や工夫を紹介している。 ⑤十分な直接体験を行いながら学習が進められる展開になっている。 ⑥単元の初めに「思い出そう」の項目で「○年理科で、…」と関連する既習事項を確認できるようにしている。 ⑦必要な箇所に二次元コードを配置して動画等を利用できるようにしたり、「ICT」のマークで「写真を撮っておくとよい」などのアドバイスを入れたりしている。 ⑧子どもの思考のスタートラインをそろえて学習を進めることができるように、既習内容を思い出せるようになっている。 ○ 系統的に順序性を確保した上で、季節的な不具合を生じないように野外観察・飼育栽培に適した時期を考慮している。	
(エ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②サイズがコンパクトで軽い。 ③観察カードの絵が丁寧で分かりやすい。		
(イ) 教科・種目別の観点	①観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮がなされているか。	①理科室の使い方や初めて使う実験器具の使い方が巻末ではなく必要な箇所に配置されているので、子どもが理解しやすい。また、二次元コードで動画も用意している。	
	②観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮がなされているか。	②「見つける」「調べる」「まとめる」のサイクルがパターン化されており、学習に取り組みやすくなっている。また、学習の流れがわかりやすくなるよう、「学びのライン」が示されており、見通しが持ちやすい。	
	③「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮がなされているか。	③巻頭に「理科を楽しむ 見方・考え方」を設け、問題解決の過程を通して、どのように理科の見方・考え方を働かせていくのかを分かりやすく端的に示している。	